教育社会学

科目ナンバリング　SOE-201
選択必修　　2単位

谷村　英洋

1. 授業の概要（ねらい）

教育は、社会のありようとどのように結びついているのか。当科目では、下記の3つのテーマを設けてこの問いに取り組んでいく。

①教育が人々を選抜し、社会の中に位置付けていくという働き
②個人が社会のルールや期待を受け取り、社会的存在へとかわっていくプロセス
③高等教育と社会の関わり

履修者には　授業や文献の内容をもとに、自らあれこれ思索するという作業に積極的に取り組むよう求める。当科目はそのような思索を通して、「自明」「当たり前」とみなされがちな教育や学校という制度・営みを、クリティカルにとらえる洞察力を養うことを目的とする。

ただし、当科目で提示する知識や考え方は、いずれも「すぐ役立つ」「実践的」等とは評し難いものである。履修するかどうかは、その点も踏まえて検討してほしい。

授業は講義を中心に構成するが、履修者数に応じて、適宜ディスカッションやグループワークを取り入れる。

2. 授業の到達目標

①教育の選抜・配分機能に関する的確な知識を示すこと、または基礎的事項の概略を記述することができる。
②社会化に関する的確な知識を示すこと、または基礎的事項の概略を記述することができる。
③大学教育の現代的な課題について、的確な知識を示すこと、または概略や意見を記述することができる。

3. 成績評価の方法および基準

各回の授業内課題 40%
中間試験 10%
期末試験 50%

4. 教科書・参考文献

教科書
吉田武男　(監修),　飯田浩之　・　岡本智周 (編著)　教育社会学 (MINERVAはじめて学ぶ教職)　ミネルヴァ書房（ISBN：4623084132、2420円（税込））

5. 準備学修の内容

授業の予習・復習のため教科書を読みまとめる。

6. その他履修上の注意事項

講義音声とレジュメ等をLMSで配信する「オンライン授業」です（2020年度秋期）。各回の受講は指定された約1週間の期間内に行って下さい（それ以降は課題提出ができなくなります）。中間や期末にオンラインで試験をする際は、すべての履修者が火曜5限の時間内にオンラインで受講・受験する必要があります（それ以外の時間に受けることはできません）。そのほかの注意事項は初回の授業で伝達します。以上の事項を了承して履修してください。

7. 授業内容

【第1回】　イントロダクション：授業内容の概要と、受講上の諸注意
【第2回】　近代学校の成立
【第3回】　選抜・配分と学校教育（1）学歴主義の日本的構造
【第4回】　選抜・配分と学校教育（2）戦後日本と学歴主義
【第5回】　現代日本の教育意識
【第6回】　社会化とアイデンティティ
【第7回】　家族と社会化
【第8回】　中間の振り返り
【第9回】　ジェンダー（1）ジェンダーとは
【第10回】　ジェンダー（2）学校文化とジェンダー
【第11回】　逸脱
【第12回】　日本の高等教育制度
【第13回】　大学教育のレリバンスと効用
【第14回】　社会の変容と大学の変容
【第15回】　全体の振り返りと試験